

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 タカチホ  
 コード番号 8225 URL <http://www.takachiho-net.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 026-221-6677

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,013	—	252	—	198	—	79	—
20年3月期第3四半期	9,720	1.0	209	△20.9	173	△19.8	113	81.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	12.68	—
20年3月期第3四半期	18.15	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年3月期第3四半期	9,096	—	2,572	—	28.3	—	410.81	
20年3月期	9,255	—	2,595	—	28.0	—	414.59	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,572百万円 20年3月期 2,521百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,750	0.2	300	55.0	200	47.4	70	62.3	11.18

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 7,275,000株 20年3月期 7,275,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,014,129株 20年3月期 1,013,726株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 6,261,036株 20年3月期第3四半期 6,262,416株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、高止まりしていた原油等の原材料価格が下落に転ずるなど好材料があったものの、サブプライムローン問題をきっかけとした世界的な金融不安や株価の低迷などによる、国内経済の減速から生活防衛意識が高まり、消費マインドは低迷し、厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢下ではありますが、当期間におけるレジャー市場は、比較的安定した天候と燃料価格の安定化等により大きな影響を受けることなく推移しました。

こうした流れを受け、当社におきましては主力でありますみやげ品部門におきましては、地域性にこだわった積極的な商品作りや、直営店「旬粋」での扱い商品の差別化による集客力の拡大に努めてまいりました。またアウトドア用品部門におきましては、週末におけるユーザー参加型イベントの企画・開催によるお客様と一体となったサービス活動により、お客様のニーズの発掘と購買意欲の喚起を進めてまいりました。これらの営業活動により業績は概ね計画通りに推移いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は10,013百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は252百万円（同20.4%増）、経常利益は198百万円（同14.1%増）、四半期純利益は79百万円（同30.2%減）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 貸借対照表

流動資産は前事業年度末に比べて447百万円増加し、3,237百万円となりました。増加の主な要因は商品が307百万円増加、売上債権が135百万円増加したことによります。

流動負債は前事業年度末に比べて907百万円増加し、4,683百万円となりました。増加の主な要因は仕入債務が303百万円増加、短期借入金が70百万円増加、1年以内返済予定長期借入金が550百万円増加したことによります。

固定負債は前事業年度末に比べて655百万円減少し、1,841百万円となりました。減少の主な要因は長期借入金468百万円減少、社債が100百万円減少、長期未払金が78百万円減少したことによります。

純資産は前事業年度末に比べて50百万円増加し、2,572百万円となりました。増加の主な要因は当四半期純利益によります。

#### (2) キャッシュ・フロー

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は215百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益188百万円及び減価償却費198百万円、また仕入債務303百万円の増加が増加要因であり、一方で売上債権135百万円の増加及びたな卸資産317百万円の増加が減少要因であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は55百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出です。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は82百万円となりました。これは主に社債の償還によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想は、「平成20年3月期決算短信」（平成20年5月15日付）において公表しました数値より変更しておりません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

##### ②棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出は、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げは、収益性が低下していることが明らかな棚卸資産についてのみ正味売却額を見積り、簿価の切下げを行っております。

なお、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で、前事業年度末において帳簿価額を処分見込価額まで切下げているものについては、当第3四半期会計期間において前事業年度末から著しい状況の変化がないと認められるため、前事業年度末における貸借対照表価額を引き続き計上しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はございません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	737,096	694,326
受取手形及び売掛金	1,206,500	1,070,653
商品	1,114,204	806,743
製品	22,640	20,556
原材料	92,222	84,494
その他	83,596	129,845
貸倒引当金	△18,612	△16,517
流動資産合計	3,237,648	2,790,101
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,837,541	2,998,128
土地	1,113,652	1,113,652
その他(純額)	343,828	334,550
有形固定資産合計	4,295,022	4,446,332
無形固定資産		
	118,242	120,407
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,110,654	1,115,842
その他	395,158	389,121
貸倒引当金	△59,849	△68,072
投資その他の資産合計	1,445,963	1,436,890
固定資産合計	5,859,228	6,003,630
資産合計	9,096,876	8,793,732
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,171	651,241
短期借入金	3,156,032	2,535,764
未払法人税等	45,653	55,657
賞与引当金	17,076	50,640
返品調整引当金	6,145	10,988
ポイント引当金	12,661	10,163
その他	490,806	461,232
流動負債合計	4,683,545	3,775,687
固定負債		
社債	340,000	440,000
長期借入金	1,092,793	1,557,581
役員退職慰労引当金	49,754	62,166
その他	358,762	436,841
固定負債合計	1,841,309	2,496,589

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債合計	6,524,855	6,272,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	720,835
利益剰余金	1,052,558	998,242
自己株式	△199,513	△199,460
株主資本合計	2,573,879	2,519,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,858	1,839
評価・換算差額等合計	△1,858	1,839
純資産合計	2,572,021	2,521,456
負債純資産合計	9,096,876	8,793,732

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,013,742
売上原価	7,623,924
売上総利益	2,389,818
販売費及び一般管理費	2,137,694
営業利益	252,123
営業外収益	
受取利息	6,078
受取配当金	458
受取事務手数料	9,304
その他	13,788
営業外収益合計	29,629
営業外費用	
支払利息	80,383
その他	2,819
営業外費用合計	83,202
経常利益	198,549
特別利益	
前期損益修正益	10,533
償却債権取立益	5,161
貸倒引当金戻入額	3,437
特別利益合計	19,132
特別損失	
前期損益修正損	1,904
減損損失	26,544
固定資産除却損	109
投資有価証券評価損	737
特別損失合計	29,295
税引前四半期純利益	188,386
法人税、住民税及び事業税	86,561
法人税等調整額	22,463
法人税等合計	109,024
四半期純利益	79,361

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	188,386
減価償却費	198,026
有形固定資産除却損	109
減損損失	26,544
投資有価証券評価損益 (△は益)	737
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,128
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33,564
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△4,843
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,497
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12,412
受取利息及び受取配当金	△6,536
支払利息	80,383
前期損益修正損益 (△は益)	△8,628
売上債権の増減額 (△は増加)	△135,847
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△317,240
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	7,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	303,929
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△231
前受金の増減額 (△は減少)	165
その他の資産の増減額 (△は増加)	32,105
その他の負債の増減額 (△は減少)	66,584
小計	381,146
利息及び配当金の受取額	6,557
利息の支払額	△78,730
法人税等の支払額	△93,687
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>215,286</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△219,500
定期預金の払戻による収入	254,000
有形固定資産の取得による支出	△79,270
投資有価証券の取得による支出	△500
差入保証金の差入による支出	△34,894
その他	24,241
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△55,924</b>

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	620,000
短期借入金の返済による支出	△550,000
割賦債務の返済による支出	△102,598
長期借入れによる収入	408,810
長期借入金の返済による支出	△323,330
社債の償還による支出	△110,000
自己株式の取得による支出	△53
配当金の支払額	△24,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77,270
現金及び現金同等物の期首残高	441,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	519,123

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	9,720,652
II 売上原価	7,366,902
売上総利益	2,353,749
III 販売費及び一般管理費	2,144,389
営業利益	209,359
IV 営業外収益	47,935
V 営業外費用	83,324
経常利益	173,970
VI 特別利益	64,991
VII 特別損失	4,040
税引前四半期純利益	234,922
税金費用	121,247
四半期純利益	113,675

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	234,922
減価償却費	188,840
固定資産除却損	4,040
貸倒引当金の減少額	△348
賞与引当金の減少額	△33,574
返品調整引当金の減少額	△3,112
ポイント引当金の増加額	483
退職給付引当金の減少額	△52,768
役員退職慰労引当金の減少額	△1,162
受取利息及び配当金	△6,209
支払利息等	79,269
売上債権の増加額	△141,544
たな卸資産の増加額	△293,306
営業保証金の減少額	38,400
仕入債務の増加額	287,986
未払消費税等の減少額	△10,697
前受金の増加額	1,074
その他資産の減少額	27,919
その他負債の減少額	△21,831
小計	298,382
利息及び配当金の受取額	6,094
利息の支払額	△79,242
法人税等の支払額	△88,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,883

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△219,500
定期預金の払戻による収入	264,000
有形固定資産の取得による支出	△99,697
投資有価証券の取得による支出	△3,000
敷金保証金の差入による支出	△66,914
その他	14,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,018
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	700,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000
固定資産に係る割賦債務等の返済による支出	△100,189
長期借入れによる収入	803,921
長期借入金の返済による支出	△306,841
社債の償還による支出	△150,000
自己株式の取得による支出	△472
配当金の支払額	△24,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,522
IV 現金及び現金同等物の減少額	△52,657
V 現金及び現金同等物の期首残高	552,036
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	499,378